

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社りそな銀行松本支店)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			国際的規範に準拠して策定された「グループ人権方針」や人権に関するテーマについての研修を全従業員向けに実施するとともに、様々なステークホルダーから人権に関する相談を承る枠組みを構築。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			行動指針や人権方針、就業規則等においてハラスメントを禁止するとともに、ハラスメント防止指針や社内啓発資料も制定し、従業員への周知・啓発を実施。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8									16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			労働組合との労使関係のなかで、従業員の働きやすい職場環境づくりや、賃金、労働時間、福利厚生等労働条件などについて定期的な交渉・協議を実施。半休の取得も推進し、店内に取得管理表を掲示し見える化している							8.5 8.8										
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			外国人留学生の新卒採用、海外拠点での現地スタッフ採用を実施。国籍を問わず、グローバルの経済・技術革新や金融サービス業の動向等を捉え、各部門の業務に活かすことができる人財を養うべく、継続的な支援を実施。				4.4			8.7 8.8		10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			防犯については責任者を任命・防犯組織を組成のうえ地元警察とも連携し安全確保の体制を整備済。安全衛生についても管理者を選任し、従業員等の心身両面にわたる健康の保持・増進と快適かつ衛生的な職場環境の形成を推進。			3				8										
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			ストレスチェックの実施やその集団分析を踏まえた産業医面談を実施。各種セルフケア・ラインケアの研修や1on1により、メンタル疾患の未然防止に努めている。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			従業員一人ひとりが考え方の違いをお互いに理解し、認め合い、高め合いながら、積極的に新たな気づきを不得価値創造につなげるべく、ダイバーシティ&インクルージョンの推進体制を構築。経営直轄機関「りそなWomen's Council」の提言からは女性活躍や多様な働き方を推進する人事制度が実現。					5.1 5.5		8.5		10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			複線型人事制度において、コースごとに育成体系を用意し、OJTと社内・社外研修などを実施。加えて、リスクのためのコンテンツ提供・研修を実施。(DX・SX・AML・実践力向上・リベラルアーツ学習等)				4	5.5		8	9									
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			同一労働同一賃金等の原則に基づいた給与等各種規程のもと、公正な人事運用を行う体制を整備済。					5.5		8.5		10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			従業員の心身両面にわたる健康の保持・増進と快適かつ衛生的な職場環境づくりに向けて、会社・健康保険組合・従業員が一体となって健康経営を推進している。			3				8										
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物処理に関する社内ルールを制定し、適切な対応を履行している。											11.6	12		14.1			
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			りそなグループのGHG排出量41,142t-CO2(2022年度)。							7.3					13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			りそなグループでとして2030年自社のGHG排出量ネットゼロを目標に削減の取組を進めている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	【非該当】		取扱いなし			3.9			6.3					11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			「生物多様性保全に関する考え方」を定めている。						6.6									15		
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			グリーン購入の取組みに努め、お客さまにお渡しするノベルティグッズ関連でも環境配慮型素材の導入を進めている。												13		14.1			
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			水使用量の測定管理。引き続き適切な管理・利用を行う。						6.4 6.6											
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【非該当】		2020年度まで取得していたが、CN目標・RTF目標に吸収し発展的解消。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			TCFD提言に沿った開示など、統合報告書やHPで環境に関する取組みを開示している。												12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			2025年までに自社が電力契約する物件について100%再エネ切替を目標に取組実施中。							7.2						13				
公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			オフィスにおける環境負荷低減の取組みなどを通じて天然資源の利用に配慮した活動に取り組んでいる。												12.2	13	14	15		
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			「グループ腐敗防止方針」を掲げ、全従業員を対象とした職場内研修等において、具体的な事例を示した上で腐敗行為禁止の周知をしている。															16 16.5		
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			コンプライアンス体制の強化を図るとともに、「グループ・コンプライアンス委員会」を設置し、コンプライアンスに関する諸問題を検討・評価する体制を整備。															16		
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			年2回、本部従業員向けに弁理士を講師とした特許セミナーを開催し、知的財産の保護に向けた意識向上に取り組んでいる。								8.2 8.3	9								
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			「個人情報保護宣言」の公表や情報漏えい・紛失等を防止するための体制整備、徹底した従業員教育への継続的な取組みなどにより、お客さま情報の適切な利用・管理に努めている。															16		
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		取扱なし。																16	
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			サプライヤー、業務委託先、購買先等へ人権尊重、環境への配慮などについて理解いただけるよう努めている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			2020年10月22日に宣言済み。			3					8	9	10							17

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (※などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			「フィデューシャリー・デューティー取組方針」のもと、お客さまの「こまりごと」に寄り添い、課題解決に向けて総合的なサービスを提供する。			3.9									12.4					
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			「フィデューシャリー・デューティー取組方針」のもと、お客さまニーズに適した商品ラインアップの整備を取組んでいる。								9									
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			環境に配慮した住宅を購入される方向けの住宅ローン商品など環境に配慮した商品・サービスの開発・提供などを通じて環境保全活動を支援します。						6						12	13	14	15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			SDGs関連団体等への寄付などを行うSDGs関連金融商品、「いつでも」、「どこでも」簡単に利用できる「りそなグループアプリ」など社会課題解決にする商品・サービスを提供している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			「地域経済の活性化」を当社のマテリアリティとして定め、お客さまとの環境・社会課題をテーマとした建設的な対話、企業のスタートアップ支援や成長支援、社会インフラの効率運営のサポート等を行い、暮らしやすい街づくりに貢献。				4				9		11	12		14	15		17	
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			従業員の自発的な活動を支援する取組みとして発足した「Re:Heart倶楽部」を通じて、地域の社会貢献活動（地域の行事への参加や清掃活動等）を実施				4						11				14	15		17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			支店の移転に伴い、地域資源を積極的活用								8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			バーバス、経営理念、長期ビジョン、行動宣言／指針等を記載した冊子の従業員への配布、各職場での研修やeラーニング等により社内周知を徹底。								8	9							17	
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			行動指針や経営理念を理念体系として定め、各種研修や各職場での取組み等を通じ理念体系の浸透・実践を促進している。																16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			「グループサステナビリティ推進委員会」を設置。サステナビリティに関する重要事項を推進・管理している。																16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			2023年5月12日に「マルチステークホルダー方針」を公表。																16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			「グループリスク管理方針」を定め、リスク統括部署にてリスク管理を実施している。																16	
41	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			「社会的責任投資に向けた取り組み」を公表し、環境・社会に対する影響を配慮した投資を行っている。																16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			不測の事態に備えた業務継続に係るマニュアルを整備するとともに、マニュアルに基づき訓練等を実施している。								9		11		13 13.1				16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			信託機能の活用やM&Aなどソリューションの提供やコンサルティングを通じて、お客さまの事業承継のサポートを取組んでいる。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定